

各 位

会 社 名 三信建設工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 大 沢 一 実
 (J A S D A Q ・ コード 1 9 8 4)
 問合せ先 執行役員管理本部長
 関 和 一 郎
 (TEL. 03- 5825 - 3700)

営業外収益の計上、特別損失の計上及び繰延税金資産の計上

並びに通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 3 月期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）において、営業外収益、特別損失及び繰延税金資産を計上する見込みとなりました。

また、平成 27 年 2 月 12 日に「平成 27 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて公表いたしました通期の業績予想と配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上

為替相場の変動により、平成 27 年 3 月期において為替差益 71 百万円を営業外収益に計上する見込みであります。これは主に、当社が保有する外貨建資産に対する為替相場の、前期末に対し円安に推移したことによるものであります。

2. 特別損失（減損損失）の計上

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、収益性が低下し減損の兆候が認められた事業グループにおいて、将来の回収可能性を検討した結果、平成 27 年 3 月期において減損損失 87 百万円を特別損失に計上する見込みであります。

3. 繰延税金資産の計上

平成 27 年 3 月期及び今後の業績動向を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能性が見込まれる部分について繰延税金資産を計上する見込みとなりました。これにより、法人税等調整額（△は利益）を△1 億 42 百万円計上する見込みであります。

4. 平成 27 年 3 月期通期業績予想の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	9,500	200	280	250	円 銭 25.91
今 回 修 正 予 想 (B)	9,700	300	450	380	39.38
増 減 額 (B-A)	200	100	170	130	—
増 減 率	2.1%	50.0%	60.7%	52.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	10,451	423	509	288	29.94

5. 業績予想修正の理由

わが国経済は、企業収益が改善し、それによる雇用環境の改善により消費増税後の落ち込みから個人消費が緩やかに持ち直しつつあり、今後も低金利、円安及び原油安による良好な企業経営環境を背景に、緩やかな経済回復基調は継続していくものと思われま

す。売上高につきましては、第4四半期会計期間において下半期の受注工事高の減少に伴う売上高の減少が予想されましたが、97億円と微増する見通しとなりました。

利益面につきましては、売上高の増加及び徹底した原価管理等により営業利益は3億円、為替相場が円安に推移したこと及び有価証券売却益等の増加により経常利益は4億50百万円、また減損損失の計上に係らず繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額の計上により当期純利益は3億80百万円となる見込みであります。

6. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (平成27年2月12日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00
今回修正予想	—	—	—	8.00	8.00
当期実績	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	—	—	—	5.00	5.00

7. 配当予想修正の理由

当社の配当政策は特殊技術専門会社としての技術的発展と安定した成長を継続するため内部留保の充実を重視しており、そのうえで会社の業績に対応して安定的な配当の継続を基本方針としております。期末配当につきましては上記「4. 平成27年3月期通期業績予想の修正」に伴い、予想の5円を3円増配して8円に修正することといたしました。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上